



広報 みまた

発行・編集 北諸県郡三股町職員課 ☎ 52-1111 発行 5月20日 No.201

町民憲章 (昭和39年1月4日制定)

わたくしどもは、歴史に輝き山河うるわしい三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ、郷土愛と開拓精神をもって、ここに明るく豊かな、明日の町づくりのためにこの憲章を定めます。

- 1 常に新しい希望をもって郷土の開発につとめましょう。
- 1 教育を尊び青少年を健やかに育てましょう。
- 1 環境を清潔にし健康の増進につとめましょう。
- 1 生活を工夫しよりよい風習をつくりましょう。
- 1 力をあわせねばり強く住みよい町を築きましょう。

三股町の花 サツキ:鳥 ホオジロ:木 イチョウ



つつじと八重桜の咲き誇った 椎八重公園（通称つつじヶ丘）

つつじ祭り期間中は、町内外から約五万人が訪れ、春を満喫していました。

写真撮影 4月25日

61 / 5月号

領収書や契約書と印紙税

私たち、毎日の生活の中で、いろいろな文書を作成したり、もらったりしています。これらの文書の中には、領収書や借用証書、売買契約書などのように、印紙税がかかるものがあります。

文書を作成する際には、印紙税がかかるかどうか、税額はいくらかなど確認して、間違いないようによく注意しましょう。

印紙税についてお分かりになりたい点がありましたら、お気軽に下記のところにお尋ねください。

都城税務署
電話 都城（〇九八六）
一二一四三七七
二四一九三八〇



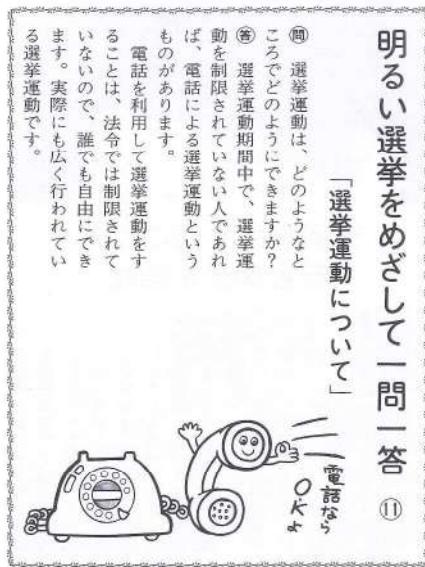
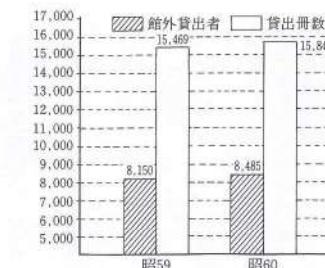
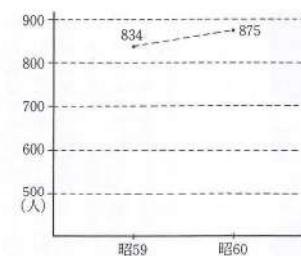
(二) 館外貸出者と、貸出冊数



* 昭和五十九年度に比べて、四一名伸びています。

(二) 入館者の内訳

* 昭和五十九年度に比べて、館外貸出者が三三五名、貸出冊数が三七二冊伸びています。



「仕事と育児」どちらも大切にしたい!!

女子の職場進出は年々盛んになりましたが、なかでも育児期以降に再就職を希望する女子が多くなっています。最近では、女子のライフサイクルに応じた能力活用策として、出産、育児などにより退職した女子を再雇用する制度を設ける企業もみうけられるようになりました。

女子再雇用制度は、企業にとっては自社で養成した経験・技能を持つ労働者を確保し、活用することができます。女子労働者にとっては過去のキャリアが生かされ、女子のライフステージに合わせて、職業と育児との両立を図ることができる等のメリットがあります。

女子再雇用促進給付金

一、次のような女子再雇用制度を設けていること。

(一) 労働協約又は就業規則に定められていること。

(二) 退職理由として妊娠、出産、育児が掲げてあること。

(三) 再雇用に当たって、特別の配慮をする措置がとられていること。

四 女子労働者から、退職の際に

再雇用を希望する旨の申出を得ておくこと。

(五) 離職期間を定める場合は、三年を下回らないこと。

(六) 再雇用時年齢を制限する場合は、四十歳を下回らないこと。

二、再雇用を希望する旨の申出をして退職した女子を、再び雇用



保険の被保険者として、継続して雇用すること。

三、支給額

再雇用者	一人当たり
中小企業	三十万円
大企業	二十万円

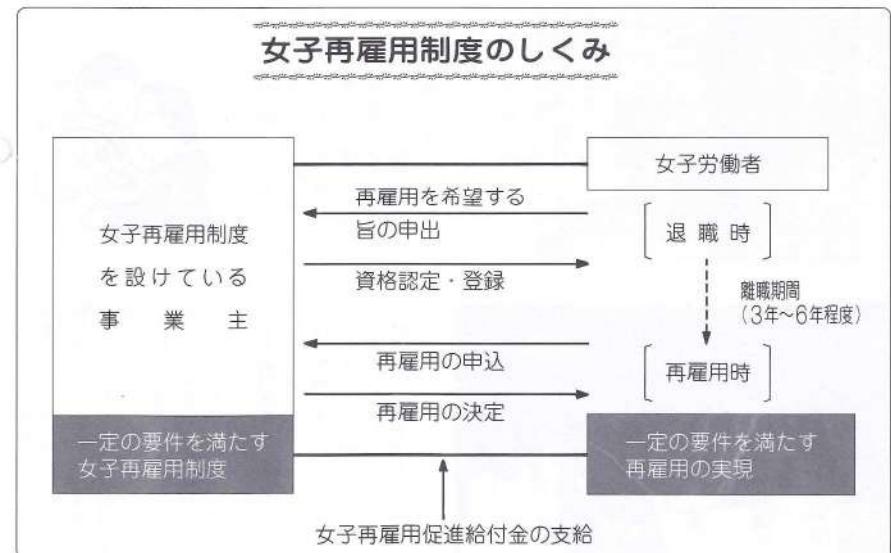
△ △

この制度についての問い合わせ先

○ 再雇用者一人当たり
中小企業 三十万円
大企業 二十万円

○ 宮崎市橋通東三一—二十二
宮崎婦人少年室
TEL〇九八五—二五—五五二一

女子再雇用制度のしくみ





機能回復を願って 1日バスハイク

町社会福祉協議会（会長・桑畠三夫）主催の戦没者慰靈祭が、四月十九日忠靈塔で神式により行われました。先の大戦で亡くなられた七百五十九柱の靈を慰めるもので、まず一分間の黙とうを捧げた後、神事が執り行われ、遺族や関係者が次々と玉串を奉典しました。

その後、会長ははじめ来賓各位の慰靈の辞が述べられ、御靈の安らかな眠りを祈りました。

式終了後は、アトラクションとして都城自衛隊による演奏が行われ、参加者は心を寄せています。

これは、身体が不自由なため二日、野外リハビリを行った後、運動公園などを見学し、野外の一

日を楽しんでいました。

しめやかに戦没者慰靈祭

町社会福祉協議会（会長・桑畠三夫）主催の戦没者慰靈祭が、四月十九日忠靈塔で神式により行われました。先の大戦で亡くなられた七百五十九柱の靈を慰めるもので、まず一分間の黙とうを捧げた後、神事が執り行われ、遺族や関係者が次々と玉串を奉典しました。

その後、会長ははじめ来賓各位の慰靈の辞が述べられ、御靈の安らかな眠りを祈りました。

式終了後は、アトラクションとして都城自衛隊による演奏が行われ、参加者は心を寄せています。



早馬まつり

町観光協会主催による伝統的早馬神社春祭り（通称「二十五踊り」）が、四月二十日盛大に開催されました。当日は神事終了後、手踊り（東原）、ジャンカン馬踊り（櫻田）、子どもみこし（山王原）棒踊り（長田）が奉納され、また舞台では、都城自衛隊の音楽隊、三股中学校の吹奏楽部による演奏のほか、各種の踊りが行われ、訪れた観客は盛んな拍手を送っていました。

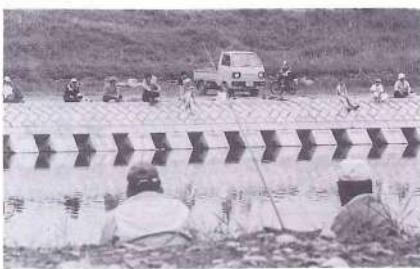
一方、境内広場では、子どもたちによる柔道、剣道の奉納試合も行われ、大変な賑わいを見せました。



交通事故を防ごうと 若者部会を結成

都城地区交通安全協会三股支部（会長福重美義）では、去る四月十一日若者部会を結成しました。これは、若者（三十歳以下）による交通事故が全体の過半数を占めているため、若者ドライバーの交通安全意識の高揚と交通事故防止を図ることを目的として結成されたものです。

当日は、各地区代表の若者四十名が参加し、「若者の力で防ごう交通事故」のスローガンのもとに若者ドライバーの力を結集して、交通安全運動を強力に推進することを宣言しました。



五百名で賑わう つり大会

町淡水漁業協同組合（組合長・片之坂秀雄）が主催する恒例のつり大会が、ゴールデンウイークの五月三日と四日の二日間、岩下橋下流で開催されました。同組合では、鯉約八百尾を大会用として放流。

大会は、両日とも小雨がぱらつくあいにくの天候でしたが、河川敷が整備されたこともあって約五百名の家族連れで賑わい、鯉が上がるたびに盛んな歓声が上がっていました。

95歳以上の老人を慰問

去る四月十七日、満九十五歳以上のお年寄りを桑畠町長が慰問しました。当時は、九名（男性二、女性七）のお宅を訪れ、「いつまでも元気で長生きしてください」と声をかけ、県のふるさと愛の基金から贈られた記念品を一人ひとりに手渡しました。



縄文時代の住居を 椎八重公園に再現

町の話題



これは、三月号で紹介しました長田の重信家人さんのものと同型で、町観光の目玉とする目的で、町観光の一角に縄文時代の竪穴式住居を再現しました。

竪穴住居は、直径四・五メートル、深さ五十七センチの円形の穴を掘り、六本の柱を立て、高さ四・五メートルのかやぶきの合掌造り、中央には石四個で炉がつくられています。

つづじ見物に訪れた家族連れな



どが、説明書を読んだり、中には入ったりして、古代人の生活を偲んでいました。

おしらせ



公民館長(六十一年度)

第一地区 森 保 正
第二地区 吉 川 勇
第三地区 宮 里 光 德
第四地区 二ノ方 逸 郎
第五地区 児 玉 敏 雄
第六地区 田 上 良 夫
第七地区 桑 畑 安 男
第八地区 川 畑 善 盛
第九地区 和 田 善 盛

農作業などで刈り取られた雑草が、道路わきに放置されているのを見かけることがあります。放置された雑草は、通行の妨げとなり、自転車・バイク等の転倒の原因ともなりますので、速やかに処理してください。

また交差点などで、見通しがきかないくらい雑草(農作物を含む)が繁茂しているところがあり危険ですので、早目に刈り取って処理してください。

苦情の出る前に、お互いに下刈りなどに努めて、環境美化にご協力ください。

健康力レンダーをご利用ください

税金は滞納しないように早めに納入しましょう

6月は県町民税
1期分の納月となっています。



雑草などの処理について

左記のよう自衛官(二等陸海、空士)を募集しています。

○応募資格

年齢十八歳以上二十五歳未満の日本籍を有する者で、学校教育

法に定める中学校卒業程度の学力を有し、かつ、自衛隊法に定める

欠格事項に該当しない者。

○試験科目

筆記試験(国語、数学、社会)、身体検査、適性検査、口述試験。

詳しいことは、役場総務課、ま

たは自衛隊宮崎地方連絡部都城出

張所(電話二三一三九四四番)まで。

税務相談について

毎月第三火曜日は、税務相談によく、税務相談を実施しています。六月は、十七日となっています。

時間 十時～十六時

場所 都城商工会議所

一般寄付

一六会

五千円

自衛官募集

社会福祉事業に役立てて下さいと寄付されました。

誠にありがとうございました。

愛のご寄付

三股町社会福祉協議会では、忌明寄付を次の通りいただきました。
故人の冥福をお祈りいたしまと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきました。

誠にありがとうございました。
昭和六十一年四月三十日まで

寄付者 稲崎 故人名
立山 渉(叔母) ミツ勝岡 一円

山之内テミ(夫) 秀正 下新一円

川上フミ子(夫) 泉 前目 三万円

松永キク(夫) 福市 山原 一万円

下野 ミネ(子) 正二 東原 一円

甲中 昭浩(父) 香徳 小さぎす 二万円

内村 静子(夫) 一山原 三万円

黒木 幸(父) 国義仲 町 三万円

享(父) 正二 東原 一円

甲中 昭浩(父) 香徳 小さぎす 二万円

内村 静子(夫) 一山原 三万円

黒木 幸(父) 国義仲 町 三万円

享(父) 正二 東原 一円

甲中 昭浩(父) 香徳 小さぎす 二万円

内村 静子(夫) 一山原 三万円

黒木 幸(父) 国義仲 町 三万円

享(父) 正二 東原 一円

甲中 昭浩(父) 香徳 小さぎす 二万円

三股町の人口

昭和61年5月1日現在

人口	18,864人	出生	22人
男	8,941人	死亡	6人
女	9,923人	転入	161人
		転出	139人
世帯数	5,981戸		
前月比	+38人		